

職業実践専門課程等の基本情報について

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地		
出雲医療看護専門学校		平成25年3月12日		橋本 勝信		〒 693-0001 (住所) 島根県出雲市今市町1151-1 (電話) 0853-25-7034		
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地		
学校法人大阪滋慶学園		昭和62年3月31日		浮舟 邦彦		〒 532-0003 (住所) 大阪府大阪市淀川区宮原1-2-43 (電話) 06-6150-1301		
分野	認定課程名		認定学科名		専門士認定年度	高度専門士認定年度	職業実践専門課程認定年度	
医療	医療専門課程		臨床工学技士学科		平成25(2013)年度	-	令和 1(2019)年度	
学科の目的	医療の質の向上に貢献できる幅広い知識・技術を持ち、生命維持管理装置を中心とする医療機器の操作、保守、点検を医療チームの一員として行う人材を養成する。							
学科の特徴(取得可能な資格、中退率等)	臨床工学技士国家試験受験資格 心電図検定・第2種ME技術実力検定試験合格を目指し、現場の即戦力の人材を育成する。							
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数		講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼間	※単位時間、単位いずれかに記入		3,150 単位時間	1,755 単位時間	465 単位時間	930 単位時間	0 単位時間
				109 単位	64 単位	17 単位	28 単位	0 単位
生徒総定員	生徒実員(A)		留学生数(生徒実員の内数)(B)		留学生割合(B/A)	中退率		
240 人	43 人		0 人		0 %	5 %		
就職等の状況	■卒業者数(C) : 11 人							
	■就職希望者数(D) : 8 人							
	■就職者数(E) : 8 人							
	■地元就職者数(F) 3 人							
	■就職率(E/D) 100 %							
	■就職者に占める地元就職者の割合(F/E) 38 %							
	■卒業者に占める就職者の割合(E/C) 82 %							
	■進学者数 1 人							
	■その他							
	鳥取県就職率37.5%							
(令和 6 年度卒業者に関する令和 7 年 5 月 1 日時点の情報)								
■主な就職先、業界等								
(令和6年度卒業生)								
島根大学医学部附属病院・益田赤十字病院・出雲徳洲会病院・鳥取市立病院・鳥取赤十字病院他								
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 有 ※有の場合、例えば以下について任意記載 評価団体: 特定非営利活動法人職業教育評価機構 受審年月: 44986 評価結果を掲載したホームページURL https://www.icmn.ac.jp/school/info/daisansya/							
当該学科のホームページURL	https://www.icmn.ac.jp/course/nursing/							
企業等と連携した実習等の実施状況(A、Bいずれかに記入)	(A: 単位時間による算定)							
	総授業時数				3, 150 単位時間			
	うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数				315 単位時間			
	うち企業等と連携した演習の授業時数				8 単位時間			
	うち必修授業時数				3, 150 単位時間			
	うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数				315 単位時間			
	うち企業等と連携した必修の演習の授業時数				8 単位時間			
	(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)				4 単位時間			
	(B: 単位数による算定)							
	総単位数				109 単位			
	うち企業等と連携した実験・実習・実技の単位数				7 単位			
	うち企業等と連携した演習の単位数				2 単位			
	うち必修単位数				109 単位			
	うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の単位数				7 単位			
	うち企業等と連携した必修の演習の単位数				2 単位			
	(うち企業等と連携したインターンシップの単位数)				1 単位			
教員の属性(専任教員について記入)	① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上となる者 (専修学校設置基準第41条第1項第1号)				4 人			
	② 学士の学位を有する者等 (専修学校設置基準第41条第1項第2号)				0 人			
	③ 高等学校教諭等経験者 (専修学校設置基準第41条第1項第3号)				0 人			
	④ 修士の学位又は専門職学位 (専修学校設置基準第41条第1項第4号)				1 人			
	⑤ その他 (専修学校設置基準第41条第1項第5号)				1 人			
	計				6 人			
	上記①～⑤のうち、実務家教員(分野におけるおおむね5年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の実務の能力を有する者を想定)の数				4 人			

授業科目等の概要

	#REF!															
	分類			授業科目名	授業科目概要	配 当 年 次 ・ 学 期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
	必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実験・実習・実技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
1	○			数学	臨床工学技士の専門基礎分野を学ぶのに必要な数学、物理学の基礎を兼ねて学ぶ。	1前	30	1	○			○			○	
2	○			生物学	分子生物学的な観点から核酸や遺伝子など生命の基本原則を学び、遺伝子治療など幅広く学ぶ。	1前	30	1	○			○			○	
3	○			化学	医学を学ぶのに必要な基礎知識として、物理化学、無機化学、有機化学、生物化学、化学工学の基礎を幅広く学ぶ。	1通	60	2	○			○		○	○	
4	○			物理学	力と運動、変形する物体、振動と波動、熱と熱力学などを中心に生体物性工学などの専門へつなぐための基礎を学ぶ。	1通	60	2	○			○			○	
5	○			英会話	日常会話など基本的な英語や英会話について学ぶ。	1前	30	1		○		○			○	
6	○			臨床医学英語	臨床医学から題材を中心に病院用語、略語、病歴や診療所見などの英文解釈と医学知識を同時に学習する。	2前	30	1		○		○			○	
7	○			臨床心理学	心理学の基礎知識を学ぶとともに自分の心の働き患者の心の世界を知り、患者との良い人間関係を形成するための手法を学ぶ。	2前	30	1	○			○			○	
8	○			コミュニケーション論	社会における人間関係、人間関係の存在的意義などを含めてコミュニケーションの大切さなどについて学ぶ。	2前	30	1	○			○			○	
9	○			医療倫理学	医療を中心とする道徳的判断の対象、義務や意思の自由と責任など具体的な例で生命倫理を学ぶ。	1前	30	1	○			○			○	
10	○			社会福祉論	人間社会、集団と社会、文化と社会、医療と社会について学ぶ。	2後	15	1	○			○			○	
11	○			社会保障制度	社会福祉の理念と精度の潰瘍を知り、サービスの活用方法を理解する。社会福祉での役割を学ぶ。	2後	15	1	○			○			○	

12	○		レポート作成 演習	レポート作成に関する基礎や文章作成に必要な語彙を学ぶ。	1 後	15	1		○		○			○	
13	○		健康科学	健康保持の手法、体力とトレーニング、救急処置など一部実技も含めて学ぶ。	1 前	30	1		○		○			○	
14	○		解剖学Ⅰ	人体と細胞、呼吸・循環・代謝・血液関連の解剖を中心に学ぶ。	1 前	30	1	○			○		○	○	
15	○		解剖学Ⅱ	筋・骨・神経系・内分泌に関する臓器・その他臓器の解剖を学ぶ。	1 前	30	1	○			○		○	○	
16	○		生理学Ⅰ	呼吸・循環・代謝・血液関連の生理学を中心に学ぶ。	1 前	30	1	○			○		○	○	
17	○		生理学Ⅱ	筋・骨・神経系・内分泌に関する臓器・その他臓器の整理を学ぶ。	1 前	30	1	○			○		○	○	
18	○		生化学の基礎	生体における代謝の基礎および疾病と機能検査との関連、その他について学ぶ。	1 後	15	1	○			○			○	
19	○		基礎医学実習	人の構造および機能、病理学概論について構造的、機能的、形態的に理解を深めることを目標として実習を行う。	1 後	30	1			○	○		○		
20	○		医療学概論	医学の歴史、医療技術の進歩の概要特に医療機器の歴史的変遷、医療従事者の倫理、将来の展望について学ぶ。	1 前	15	1	○			○		○		
21	○		病理学	主な疾病の原因および経過、予後、転帰等、特にME器械の対象となる疾患の病理学像の総論および検査について学ぶ。	1 後	30	1	○			○			○	
22	○		臨床生化学	疾病と生理機能（呼吸、循環、代謝、神経、筋）との関連および検査法、その他について学ぶ。	2 前	30	1	○			○			○	
23	○		免疫と感染	免疫のしくみ、各種免疫の概説、免疫に関する疾患、移植免疫その他関連事項について学ぶ。	2 前	30	1	○			○			○	
24	○		臨床薬理学	臨床で使用される薬剤の作用機序などを中心に、呼吸器系、循環器系、脳神経系薬剤および利尿薬、抗生物質等について学ぶ。	2 後	30	1	○			○			○	
25	○		臨床検査学	一般・血液・生化学・免疫学・微生物検査やその他の検査などのデータ解釈について概要を学ぶ。	2 後	30	1	○			○			○	
26	○		チーム医療概論	患者治療に関わる職種についてそれぞれの概要やチーム医療連携について学ぶ。	1 後	15	1		○		○		○		

27	○		公衆衛生学	健康の保持、予防医学の重要性を認識させ、一般衛生、労働衛生および疾病予防など公衆衛生の分野について学ぶ。	1 前	15	1	○				○			○	
28	○		高齢者医療学	高齢者の疾病と生理機能（呼吸、循環、代謝、神経、筋）との関連および検査法、その他について学ぶ。	2 前	30	1	○				○				○
29	○		応用数学	微分方程式、フーリエ級数とフーリエ変換、ラプラス変換など臨床工学に必要な数学について学ぶ。	1 後	30	1	○				○				○
30	○		電気工学	電磁気学、直流回路、交流回路、過渡現象、電力装置など回路理論を中心に電気工学の基礎について学ぶ。	1 前	60	2	○				○				○
31	○		電気工学演習	電気工学で学んだことを定着させるためにより深い内容を演習形式で学ぶ。	1 後	30	1	○				○				○
32	○		電子工学Ⅰ	電子物性の基礎から各種電子回路素子、及び各種増幅回路、発振回路などのアナログ回路を中心に学ぶ。	1 後	30	1	○				○			○	
33	○		電子工学Ⅱ	通信工学、オプトエレクトロニクス及び信号処理の基礎について臨床工学の分野に関連の深い内容を学ぶ。	2 前	30	1	○				○			○	
34	○		電気工学実習	電気工学の講義で学んだことについて、実体験を通して理解を深めるとともにテスター、オシロスコープ等の電気計測機器の使い方に習熟する。	1 通	60	2					○	○		○	
35	○		機械工学Ⅰ	機械力学、流体力学の応用について学ぶ。	1 後	30	1	○				○				○
36	○		機械工学Ⅱ	振動と超音波、熱現象と熱力学の医療機器への応用について学ぶ。	2 前	30	1	○				○				○
37	○		放射線工学概論	放射線と生体の相互作用、医学計測への応用、同位元素と医学応用、放射線の治療への応用、安全管理、その他について学ぶ。	3 後	30	1	○				○			○	○
38	○		医療統計学	計測の基礎から測定論、誤差論なども含めて、臨床工学に必要な計測工学の基礎について学ぶ。	2 前	30	1	○				○				○
39	○		電子工学実習Ⅰ	電子工学の講義で学んだアナログ回路を中心に実体験を通して理解を深める。	1 後	60	2					○	○		○	
40	○		電子工学実習Ⅱ	電子工学の講義で学んだディジタル回路について実体験を通して理解を深める。	2 通	60	2					○	○		○	
41	○		情報処理工学	計算機の原理、計算機のソフトウェア、数値計算アルゴリズムその他最近のネットワーク構造などを含めて情報処理工学の基礎について学ぶ。	2 通	60	2	○				○			○	

42	○			システム制御工学	システム理論、インパルス応答、伝達関数など自動制御の基礎を学びフィードバック制御、シーケンス制御、ロック線図等について学ぶ。	3前	30	1	○			○			○	
43	○			画像処理工学	画像処理の基礎、特に前処理、表示法、分画・記述、イメージングシステムなどを中心に学び医用画像処理の手法について学ぶ。	3前	30	1	○			○				○
44	○			情報処理実習Ⅰ	パソコンを使って仕事をするのが当たり前の時代。Windowsの基本操作、ワープロ、表計算、インターネット利用及び簡単なデータベースについて実習する。	1前	30	1				○	○		○	
45	○			情報処理実習Ⅱ	臨床の場で利用されるデータベースを中心に、マクロプログラムまで含めて応用できるように実習する。	2前	30	1				○	○		○	
46	○			医用統計学演習	データの収集・整理から検定・推定までの統計処理の考え方や手法を実習形式で学ぶ。	2後	30	1		○			○		○	
47	○			医用工学概論	生体の構造と機能と特異性および生体の物理・化学特性と特異性を中心に医学と工学の橋渡しを体系的に学ぶ。	2前	30	1	○				○			○
48	○			生体物性工学	生体における輸送現象、生体の電気特性、力学特性、熱特性、光学特性など工学的な観点から生体の特性について学ぶ。	2通	60	2	○				○			○
49	○			医用材料工学	人工材料の生体適合性、無機材料、金属材料、高分子材料など生体の特性と人工材料について学ぶ。	2通	60	2	○				○			○
50	○			人工臓器工学	人工腎臓、人工心臓、人工脾臓、及び最近の人工臓器の開発と現状などの動向について学ぶ。	3後	30	1	○				○			○
51	○			生体計測工学演習	生体計測に関わる機器の種類と原理や電気特性など工学的な観点で学ぶ。	3後	15	1		○			○		○	
52	○			臨床工学概論	医用機器の適用、生体計測・監視用機器、治療用機器、生体機能代行補助機器、その他の構成と原理について幅広く学ぶ。	1通	60	2	○				○		○	
53	○			医療治療機器学	電氣的治療機器、機械的治療機器、手術用機器の原理・用途を始めとして最近の内視鏡機器の概要・心臓カテーテルの治療について、その他保守管理技術などを学ぶ。	2通	60	2	○				○		○	
54	○			医用治療技術学	注射や点滴管理、輸液管理など治療で行う技術の手法や安全性に関して学ぶ。	2後	30	1	○				○		○	
55	○			生体計測装置学	医用画像機器、生化学分析機器等の構成と原理、保守点検技術を学ぶ。	2後	30	1	○				○			○
56	○			医用治療機器学演習	電氣的治療機器、機械的治療機器、手術用機器その他について操作・保守管理を中心に実習する。	2後	60	2		○			○		○	

57	○		医用治療機器学実習	注射や点滴管理、輸液管理など治療で行う技術の手法や安全性など実技を通して習得する。	2後	30	1			○	○		○		
58	○		生体計測装置学実習	循環器系、神経・筋系、呼吸器系計測器および医用画像機器を用いて、人の構造および機能の理解を深め、操作、解析、保守管理の実習をする。	3後	30	1			○	○		○	○	○
59	○		血液浄化技術学	血液浄化装置の適切な操作と保守点検ができるようにその種類、原理・構成及び適応疾患について学ぶ。	2前	60	2	○		○			○	○	○
60	○		体外循環技術学	体外循環装置の適切な操作と保守点検ができるようにその種類、原理・構成及び適応疾患について学ぶ。	2前	60	2	○		○			○		
61	○		呼吸療法技術学	呼吸療法装置の適切な操作と保守点検ができるようにその種類、原理・構成及び適応疾患について学ぶ。	2後	60	2	○		○			○		
62	○		血液浄化技術学実習	血液浄化装置に関する操作及び保守管理、点検方法を中心に実習する。	2後	60	2			○	○		○	○	○
63	○		体外循環技術学実習	体外循環装置に関する操作及び保守管理、点検方法を中心に実習する。	2後	60	2			○	○		○	○	○
64	○		呼吸療法技術学実習	呼吸療法装置に関する操作及び保守管理、点検方法を中心に実習する。	3前	60	2			○	○		○	○	○
65	○		生体計測装置安全管理学	循環器系、神経・筋系、呼吸器系計測器、医用画像機器、生化学分析機器等の構成と原理、保守点検技術を学ぶ。（医学系）	3前	30	1	○		○			○		
66	○		医療機器安全管理学	ヒヤリハットからインシデントまでの事例から医療事故を防ぐための手法や安全に治療ができる環境について学ぶ。	2前	30	1	○		○			○		
67	○		医療安全管理学	装置及びシステムの信頼性、保全性、アベイラビリティの考え方と基本的技法及び管理業務について学ぶ。	1後	15	1	○		○				○	
68	○		関係法規	医事法規概説、臨床工学技士法、関連法規、医療過誤等について学ぶ。	1前	15	1	○		○			○		
69	○		医療マネジメント概論	病院の組織、業務の効率化、財務と採算性、医療評価とリスクマネジメント等を中心に学び、臨床工学技士の業務拡大の可能性について学ぶ。	3後	15	1	○		○			○		
70	○		医療治療機器安全管理学実習	感染対策を行い身を守ることや医療機器の保守点検を行い治療の安全性を確保するなど安全管理に関する幅広い知識を習得する。	3前	30	1			○	○		○		
71	○		疾病論Ⅰ	疾患時の形態的变化や機能障害と成り行きについて学ぶ。	1後	60	2	○		○			○	○	○

72	○		疾病論Ⅱ	疾患時の形態的变化や機能障害と成り行きについて学ぶ。	1後	30	1	○			○		○	○	
73	○		神経疾患と病態と治療	疾患時の機能障害と成り行きについて学ぶ。	1後	15	1	○			○			○	
74	○		小児科学	成長発達期に起因する疾患の原因、診断、治療について学ぶ。	2後	15	1	○			○			○	
75	○		臨床医学総論Ⅰ	循環器疾患・肝臓・泌尿器疾患、代謝・内分泌関連疾患の病態、治療法、予後などを学ぶ。	2前	15	1	○			○			○	
76	○		臨床医学総論Ⅱ	呼吸器・消化器・血液・神経疾患、麻酔・集中治療医学、滅菌消毒学を学ぶ。	3前	15	1	○			○		○	○	
77	○		臨床実習	血液浄化業務、集中治療室および手術室業務、医療機器管理業務、その他等、計7単位の病院実習を実施する。	3前	##	7				○	○			○
78	○		国際臨床工学概論	異文化に触れるとともに医療の状況、技術について学び、今後の臨床工学のあるべき姿について考える。	2前	30	1		○				○	○	
79	○		課題研究Ⅰ	研究を行う前の課題発見や研究の進め方、論文の書き方などを学ぶ。	2後	30	1		○		○		○		
80	○		課題研究Ⅱ	臨床工学分野の課題テーマを選択し、研究の姿勢、手法を学び将来の業務に役立てる。	3前	30	1		○		○		○		
81	○		臨床工学総合演習	3年間の総復習を行い、今まで履修してきた科目を演習形式で学ぶ。	3後	##	4		○		○		○		
合計				81 科目				109 単位（単位時間）							

卒業要件及び履修方法			授業期間等	
卒業要件：全単位習得 出席日数2/3以上 学費完納			1 学年の学期区分	2 期
履修方法：定期試験等60%以上			1 学期の授業期間	15 週

（留意事項）

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3（3）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。